

第2回オープンキャンパス 模擬授業一覧

[2022年7月31日 (日)]

栄養 学科	<p>「保存状態による食品成分の変化とその抑制方法」(教授 工藤 慶太)</p> <p>食品中に含まれている成分は、時間の経過とともに変化していきます。その変化がヒトにとって有益な場合もあれば(例えばヨーグルトやチーズのような発酵食品)、品質の低下や健康を害する変化もあります。授業では食品成分の変化のうち、ヒトにとってマイナスの変化にはどのようなものがあるか、またどのような抑制方法があるのかについて解説いたします。</p>
看護 学科	<p>① 午前「看護技術論では何を学ぶの？」(教授 畑瀬 智恵美)</p> <p>看護は実践の科学といわれています。看護とは何か。看護をするうえで大切なことは何か。入学後どのように看護技術を学び、修得し、そして個々の対象者へ提供するのをお伝えいたします。身近な事柄から学習できるようにしますね。</p> <p>② 午前「コミュニケーションに影響する要因を学ぼう」(講師 鈴木 朋子)</p> <p>看護を行う上で、コミュニケーションなくしては患者を理解することもできません。コミュニケーションは、誰もがやっているものですが、実は奥が深く難しい技術です。今回は、コミュニケーションに影響する要因について、一緒に考えてみたいと思います。</p> <p>③ 午前・午後「タッチケアで自分と大事な人を癒そう」(教授 加藤 千恵子)</p> <p>母性看護学領域では、赤ちゃん人形へのマッサージを通して、タッチケアの手技を学び、また、自分の身体で体験して、マッサージの効果を実感してみましょう。研究結果の紹介と共にお伝えします。タッチケアは生まれる方から召される方まで、広く活用できるケア技術で年齢制限はありません。自分や大事な人のサインを見落とさないように、日々のマッサージを通して、人を癒すプロになりましょう。</p> <p>④ 午後「気持ちよさをもたらす看護」(教授 南山 祥子)</p> <p>幅広い層の成人期の人及びその家族を対象とする成人看護学では、健康障害をもつ人がその人らしく生活するための看護を学びます。心身ともに危機的状況にある人々に、より質の高い療養生活を支援することが看護師の重要な役割となります。苦痛症状の緩和、意欲の向上、心身の回復に効果をきたす「気持ちよさをもたらすケア」をとおして、生きる人を支える看護を考えてみましょう。</p> <p>⑤ 午後「地域で働く看護職～保健師の仕事を紹介します」(教授 播本 雅津子)</p> <p>保健師は、保健師免許と看護師免許を持ち、地域の行政機関等で働く看護職です。対象は赤ちゃんから高齢者まで幅広く、様々な職種の方と協力をして地域の人々の健康を守るために活動しています。模擬授業では、保健師の行う保健指導について具体的にご紹介し、保健師活動の役割と魅力をお伝えします。</p>
社会福祉 学科	<p>「農福連携と地域福祉」(講師 小泉 隆文)</p> <p>最近、農福連携という言葉を目にする機会が増えたと思いませんか？でも、農福連携とは何のことでしょうか。文字だけ見ると農業と福祉の連携かな、ということが想像つくかもしれませんが、それはいったいどのようなことなのでしょう。また、そのことが地域福祉とどのような関係があるのでしょうか。事例を紹介しながら考えてみましょう。</p>
社会保育 学科	<p>「赤ちゃんはどのように言葉を学ぶのか？」(講師 石本 啓一郎)</p> <p>高校生のみなさんは、新たに英単語を学ぶとき、言葉(例えば、apple)とそれが指し示す対象(例えば、🍏)を結び付けて学習すると思います。同じように赤ちゃんも、すぐに言葉と対象を結び付けることができるのでしょうか。実は、そのように言葉と対象を結び付ける以前に、赤ちゃんが言葉を学ぶ基盤が形成されています。赤ちゃんが言葉を学ぶ過程を、ちょっとのぞいてみましょう。</p>